

< 運動方針等の提案 >

大会初日には運動方針の提案が行われ、①活動経過と情勢、要求運動の方針について富田浩康書記長、②総合計画と仲間づくりの方針について田中諭組織部長、③行政不服審査請求運動についての補足提案を岡田勲副委員長、④国連人権理事会社会権規約委員会傍聴活動については森口藤子副委員長がそれぞれ報告しました。運動方針案の質疑では 33 人の代議員が発言し、採決の結果、保留 2 人をのぞく賛成多数で可決されました。また、⑤新年度会計予算の提案を石川幸夫会計長が行い、埼玉・土井清代議員提出の「現行の都道府県本部から中央本部への納入金を『1 人月額 50 円を 40 円にする』」等の修正案は賛成少数で否決、原案を多数で可決しました。また、⑥東日本大震災により被災した組合員の組合費及び機関紙代の免除等についての提案は全員一致で承認されました。

年金削減の流れ断つ方針

書記長 富田浩康

第 21 回大会の意義と任務（要旨）

社会保障制度解体、憲法改悪をすすめようとする政治に対し、共同を広げ、組織の総力を挙げてたたかう方針を確立することが本大会の中心任務です。

運動方針（要旨）

年金削減と社会保障制度を解体の不当性を、自治体や議会に働きかけることも重要です。年金収入が自治体財政に与える影響を数字で知った首長が変わったという報告が多くあります。

不服審査請求運動は、年金削減という処分が、暮らしと命にかかわる不当なものだから立ち上がったんだという構えが必要。年金削減の論理をどう打ち破るか、見通しをつける中で、裁判に踏み切るかどうか年金、制度のあり方を含め、中央執行委員会で検討、具体化していきま



す。

相談体制の強化では、首都圏相談ネットワークづくりを始めて 3 年半、年金確保支援法の後納制度活用の道を開くなど、大きな力を発揮するまでになっています。

支部やサークルのさまざまな活動は、年金者組合の大事な運動の柱です。

改憲策動反対のために、関係団体との共同行動に参加するとともに、戦中戦後世代の本領を発揮しようと提起しています。

参議院選挙が目前です。平和憲法を守る、社会保障解体・年金削減は許さない…私たちの要求を地域の高齢者との対話活動などにも積極的に取り組もうではありませんか。

仲間づくり・組織活動報告

組織部長 田中 諭

2 年間 4 期の仲間づくり月間を取り組み、21 回大会が最高の峰で迎えました。

1. 議案の訂正

先ず議案の修正・訂正が「2 点」あります。①議案書 1 面の別表(5 月 15 日現在)を 6 月 15 日現在の表に差し替え、②議案書 4 面の(五)「組合費は年金の 0・4%プラス 100 円」から「プラス 100 円」を削除する。



科 目	第 20 回大会	第 21 回大会	増加数・率
組合員	104,309 人	112,407 人	8,098 人増
支 部	839 支部	881 支部	42 支部増
高齢者比率	0.52%	0.55%	0.03%増
支部の自治体比率	48%	50.7%	2.7%増
「1%」の支部	124 支部	153 支部	29 支部増
年金者しんぶん	62,140 部	66,815 部	4,675 部増
女性の会	357 支部	393 支部	36 支部増
全労連共済	311 支部	408 支部	97 支部増

2. 組織活動の教訓

教訓は、要求運動と組織拡大運動を結合して、総合6ヵ年計画の目標の実現に取り組んできたことです。

3. 仲間づくりについて

(1) 第22回大会までの目標と展望

①総合計画実現のために「飛躍を」全組織の力で実現しましょう。

②全支部が総合計画をつくり実践に全力をあげましょう。

③仲間づくりと支部結成をはじめ総合的な活動を展開しましょう。

月間は年2回設け、月間ごとに1支部最低5人以上めざします。組合員拡大は日常的に取り組み、月間で飛躍をめざしましょう。

④年金者しんぶんは、隔月増ページに、支部機関紙のコンクールも実施します。

(2) 支部・都道府県本部体制の確立を

事務所、専従、日直、月間は推進委員会、推進ニュース発行。目標やり抜く体制確立が必要です。

(3) 退会者対策、班体制などの確立

基礎組織は支部。徹底や連絡ができる班体制をつくるとともに、大きい支部などは分割を推進することが必要です。

(4) 財政の確立

組合員を増やし、組合費の適正納入、紙代も含めて滞納をしないように対策たて、最低2ヵ月に1回の納入を習慣化しましょう。

(5) 役員の確保と育成

理論と実践に強い役員を配置するよう継続的に努力しましょう。

(6) 大会までの向こう2年間の運動の重点

まちづくりを展開して地域の高齢者が安心して過乙せるようにその砦になる高齢者のナショナルセンター年金者組合をつくりましょう。